

最近の世界文化遺産登録を取り巻く状況について

平成 28 年 1 2 月
文化庁記念物課世界文化遺産室

第 40 回ユネスコ世界遺産委員会及び臨時会合が開催されたところ、概要以下の通り。

1. 開催概要

期間：2016 年 7 月 10 日～7 月 17 日（当初予定では 7 月 20 日まで）

※クーデター未遂の影響により 16 日は終日中断

場所：トルコ共和国 イスタンブール

（臨時会合）

期間：2016 年 10 月 24 日～10 月 26 日

場所：ユネスコ本部（パリ）

2. 主な審議結果

(1) 世界遺産一覧表への記載に係る審査

推薦書提出資産 36 件のうち 9 件の取り下げがあった（事前取り下げ 7 件、直前取り下げ 2 件）。そのため 27 件（うち 1 件は拡張申請） について審議され、「ル・コルビュジェの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献」を含む 21 件（文化遺産 12 件、自然遺産 6 件、複合遺産 3 件） を新たに記載することが決定された。

この結果、世界遺産は総計 1052 件（文化遺産 814 件、自然遺産 203 件、複合遺産 35 件） となった。【参考 1 参照】

※ 「ル・コルビュジェの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献－」については、7 月 17 日午前（現地時間）に審議が行われた。レバノンからの発議により評価基準(i)を加える形で一覧表への記載が決定された。

※ 「紀伊山地の霊場と参詣道」の（境界線の）軽微な変更については、クーデター未遂にかかる会議中断の影響を受けて審議が持ち越されたが、10 月の臨時会合において承認された。

※ 「ナン・マドール、東ミクロネシアの祭祀場」（ミクロネシア、文化）、「アンティグア海軍ドックヤードと関連考古遺跡群」（アンティグア・バーブダ、文化）は当該国において初の世界遺産一覧表への記載となった。

(2) 資産の保全状況に係る審査

今回の委員会では、156件（うち55件は危機遺産）が保全状況審査の対象となった。

この中で議論された内容としては、全般的な管理体制・法的保護の不備の他、①武力衝突に関わるもの（例：イラク及びシリアの危機遺産）、②資産地区内あるいは近傍における開発行為に関わるもの（例：「シャフリサブス歴史地区」（ウズベキスタン）、「ウィーン歴史地区」（オーストリア））、③鉄道建設等のインフラ整備に関わるもの（例：「ラホール城塞とシャーリマール庭園」（パキスタン））、④自然災害に関わるもの（「カトマンズ溪谷」（ネパール））等が挙げられる。

※ 「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉ー」については、7月13日午前（現地時間）に審議が行われ、地元自治体と連携し、専門家や地域コミュニティの参画を得て策定された「富士山ビジョン」を基調とした保全・管理計画は、広域の文化的景観における保存管理の問題を抱える地域に対して模範的な回答となる対策を示すものとして高い評価を得た。

また、ポーランドから優良事例として委員会において共有してほしいとの要請があり、2019年の世界遺産委員会で審査を行うものとして、2018年12月にさらなる保全状況報告書の提出が求められた。

(3) 危機遺産一覧表の更新

世界遺産一覧表記載に係る審査及び保全状況に係る審査における審議の結果、8件の資産が新たに危機遺産一覧表に追加され、1件の資産が解除された。この結果、危機遺産は55件（文化遺産37件、自然遺産18件）となった。

※危機遺産一覧表に追加された資産（8件） <資産名称は仮訳>

- ・ナン・マドール、東ミクロネシアの祭祀場（ミクロネシア、文化。本資産は世界遺産一覧表への記載と同時に危機遺産一覧表に追加）
- ・ジェンネ旧市街（マリ、文化）
- ・シャフリサブス歴史地区（ウズベキスタン、文化）
- ・クーリナの古代遺跡（リビア、文化）
- ・レプティス・マグナの古代遺跡（リビア、文化）
- ・サブラータの古代遺跡（リビア、文化）
- ・タドラット・アカクスのロック・アート遺跡群（リビア、文化）
- ・ガダーミスの旧市街（リビア、文化）

※危機遺産一覧表から解除された資産（1件） <資産名称は仮訳>

- ・ムツヘタの文化財群（ジョージア、文化）

(4) 世界遺産暫定一覧表の更新

臨時会合において、我が国の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」（自然遺産）を含む最新の暫定一覧表が確認された。

(5) ワーキング・グループの設置

『世界遺産条約履行のための作業指針』及び世界遺産基金の予算及び執行にかかるワーキング・グループが設置され、臨時会合において、『世界遺産条約履行のための作業指針』の一部改訂が決定された。決定内容については【参考2 参照】。

(6) イスタンブール宣言

議長のイニシアチヴにより、委員会初日に「Istanbul Declaration on the Protection of World Heritage (世界遺産の保護に係るイスタンブール宣言)」が採択された。

昨年の「ボン宣言」が戦禍や自然災害の脅威によって遺産が破壊されている事態に対抗するための協力を求めたものであるのに対して、イスタンブール宣言は「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」や、アフリカの世界遺産の持続的開発に係る「ンゴロンゴロ 2016」をふまえて、文化的多様性、違法発掘、遺物の不正取引、気候変動の脅威、経済的圧力等の幅広い多様な文化財保護における課題に対して、国際的な協力体制を強化し持続的開発を図ることを目的とした宣言である。

(7) 第41回世界遺産委員会について

開催国等について、以下の通り決定した。

- ・日程：2017年7月2日～7月12日
- ・場所：クラクフ（ポーランド）
- ・議長（個人資格）：Prof. Jacek Purchia（ポーランド）
- ・副議長：韓国、ポルトガル、ペルー、クウェート、アンゴラ
- ・書記（個人資格）：Mr. Juma Muhammad（タンザニア）

第40回ユネスコ世界遺産委員会における新規記載及び拡張に係る審議結果

NO.	国名	遺産名(仮訳)	種別	勧告	決議	備考
1	中国	左江華山岩絵の文化的景観 Zuojiang Huashan Rock Art Cultural Landscape	文化	記載	記載	新規
2	インド	ナーランダ・マーハヴィハラ遺構 Excavated remains of Nalanda Mahavihara	文化	記載延期	記載	新規
3	イラン	ペルシャ式カナート The Persian Qanat	文化	記載延期	記載	新規
4	ミクロネシア	ナン・マドール、東ミクロネシアの祭祀場 Nan Madol: Ceremonial Center of the Eastern Micronesia	文化	記載	記載	新規
5	タイ	プー・ブラ・バット歴史公園 Phu Phrabat Historical Park	文化	記載延期	取り下げ	新規
6	ボスニアヘルツェゴビナ、クロアチア、モンテネグロ、セルビア	ステチュツィー中世の墓石群 Stecći – Medieval Tombstones	文化	記載延期	記載	新規
7	クロアチア	公共広場(フォーラム)の記念物を特徴とするザダル半島のローマ都市 Roman Urbanism of the Zadar Peninsula with the Monumental Complex on the	文化	不記載	取り下げ	新規
8	ギリシャ	フィリッピの考古遺跡 Archaeological Site of Philippi	文化	記載	記載	新規
9	スペイン	アンテケラ・ドルメン遺跡 Antequera Dolmens Site	文化	記載	記載	新規
10	トルコ共和国	アニの考古遺跡 Archaeological Site of Ani	文化	記載延期	記載	新規
11	イギリス	ゴーラム洞窟群 Gorham's Cave Complex	文化	記載	記載	新規
12	アメリカ合衆国	フランク・ロイド・ライトの主要な近代建築作品群 Key Works of Modern Architecture by Frank Lloyd Wright	文化	記載延期	情報照会	新規
13	フランス、アルゼンチン、ベルギー、ドイツ、インド、日本、スイス	ル・コルビュジエの建築作品 – 近代建築運動への顕著な貢献 – The Architectural Work of Le Corbusier, an Outstanding Contribution to the Modern Movement	文化	記載	記載	2009年 情報照会 2011年 記載延期
14	アンティグア・ハーブーダ	アンティグア海軍造船所と関連考古遺跡群 Antigua Naval Dockyard and Related Archaeological Sites	文化	記載	記載	新規
15	ブラジル	パンプルーリア近代建築群 Pampulha Modern Ensemble	文化	記載	記載	新規
16	パナマ	パナマシティの考古遺跡と歴史地区(重大な境界変更) Archaeological Site and Historic Centre of Panama City	文化	不承認	不承認	拡張申請
	チェコ/ドイツ	エルツゲビルゲ/クルシュノホリ鉱山の文化的景観 Mining Cultural Landscape Erzgebirge / Krušnohoří	文化	取り下げ	-	新規
	ドイツ	ハレの فرانケ財団 Francke Foundations, Halle	文化	取り下げ	-	新規
	日本	長崎の教会群とキリスト教関連遺産 Churches and Christian Sites in Nagasaki	文化	取り下げ	-	新規
	モンテネグロ	ツェティニエ歴史地区 Historic Center of Cetinje	文化	取り下げ	-	新規
	大韓民国	書院、李氏朝鮮の宋明理学教育機関群 Seowon, Neo-Confucian Academies of the Joseon Dynasty	文化	取り下げ	-	新規

NO.	国名	遺産名(仮訳)	種別	勧告	決議	備考(過去の審議結果等)
17	チャド	エネディ山地: 自然景観及び文化的景観 Ennedi Massif: National and Cultural Landscape	複合	記載延期	記載	新規
18	イラク	南イラクの湿原: 生物多様性の避難場所かつメソポタミア都市の残存景観 The Ahwar of Southern Iraq: Refuge of Biodiversity and the Relict Landscape of the Mesopotamian Cities	複合	記載延期	記載	新規
19	インド	カンチェンジェンガ国立公園 Khangchendzonga National Park	複合	記載	記載	新規
20	カナダ	ピマチオウィンアキ Pimachiowin Aki	複合	記載	情報照会	2013年 自然・文化 記載延期

NO.	国名	遺産名(仮訳)	種別	勧告	決議	備考(過去の審議結果等)
21	スーダン	サンガネブ海洋国立公園とドゥンゴナ湾 ムツカワル島海洋国立公園 Sanganeb Marine National Park and Dugonab Bay – Mukkawar Island Marine National Park	自然	情報照会	記載	2015年 情報照会
22	中華人民共和国	湖北の神農架林区 Hubei Shennongjia	自然	記載	記載	新規
23	イラン	ルート砂漠 Lut Desert	自然	情報照会	記載	新規
24	カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタン	西天山山脈 Western Tien-Shan	自然	記載延期	記載	新規
25	トルクメニスタン	コイトンダグの山地生態系 Mountain Ecosystems of Koytendag	自然	不記載	記載延期	新規
26	タイ	ケーングラチャン森林保護区群 Kaeng Krachan Forest Complex	自然	情報照会	情報照会	2015年 情報照会
27	カナダ	ミステイクン・ポイント Mistaken Point	自然	記載	記載	新規
28	フランス	ピュイ山地とリマーニュ断層の地殻運動・火山地帯 Tectono-volcanic Ensemble of the Chaîne des Puys and Limagne Fault	自然	不記載	情報照会	2014 情報照会
29	メキシコ	レビジャヒェド諸島 Archipiélago de Revillagigedo	自然	記載	記載	新規
	ロシア	西コーカサス Western Caucasus	自然	取り下げ	-	拡張申請
	ロシア	コミの原生林 Virgin Komi Forests	自然	取り下げ	-	拡張申請

世界遺産一覧表への審査件数の制限について

平成28年11月
文化庁記念物課世界文化遺産室

第40回ユネスコ世界遺産委員会臨時会合（平成28年10月、ユネスコ本部（パリ））において決定された『世界遺産条約履行のための作業指針』の主な内容は以下の通り。

決定内容

- 年間の審査件数の上限を従来の45件から35件に引き下げる。
- 各国ごとの審査件数を2件（うち文化遺産は1件）から1件に引き下げる。
- 改正内容は平成32（2020）年の審査（平成30年度推薦）から適用。
- 本決定は試行的に4年間実施し、第46回世界遺産委員会（平成32（2020）年夏）において見直す。

（参考）背景

ひっ迫する世界遺産基金の予算を途上国の支援に回すため、新規推薦の審査に係る経費を節減するとともに、世界遺産が一部の地域・国（主に先進国）に集中している現状を是正すること等を目的に議論されてきたもの。